

# リチウムイオン電池について (資源化物【廃乾電池】)

電池・バッテリーが一体型で取り外せないもの(スマホ、電子たばこ、電気シェーバーなど)は、**資源化物の廃乾電池として**出してください。

## リチウムイオン電池による発火トラブル

モバイルバッテリー、電子たばこ、電子機器のバッテリーなど、リチウムイオン電池を含む電子機器が他のごみや資源化物に混入し、処理施設での発火トラブルが近年増加しています。

乾電池や、その他の電池についても、発火の可能性があります。リチウムイオン電池は中に燃えやすい液体が入っていることもあり、発火リスクが特に高いと言われています。

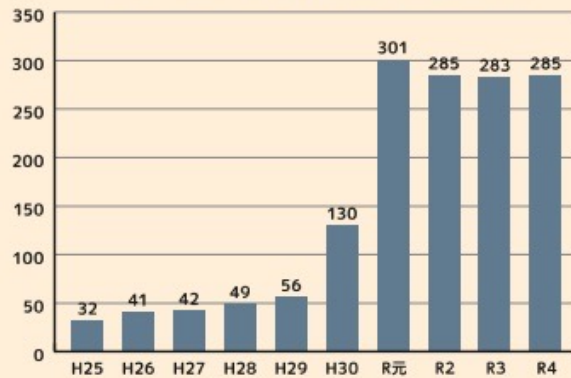
リチウムイオン電池は処理施設の「破砕機」や「破袋機」の刃によって、リチウムイオン電池が押し潰されて、ショート・発火してしまうことがあります。

●リチウムイオン電池が押しつぶされ、ショート・発火するイメージ



▲発火原因となった電子たばこ (リチウムイオン電池内蔵)  
▲発火原因となった掃除機 (リチウムイオン電池内蔵)  
▲発火原因となったデジタルカメラ (リチウムイオン電池内蔵)

全国の再生処理事業者での  
発煙・発火トラブル件数の推移(単位:件)



出典:「リチウムイオン電池等の発火物が原因になる発煙・発火トラブル」  
公益財団法人日本容器包装リサイクル協会

## 発火の危険性が高いリチウムイオン電池を混入させないために

